

平成29年度 図書館活動評価(案) 重点事項評価

項目	平成28年度重点事項	平成28年度事業	
1	当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。	①	貴重資料の公開
		②	郷土資料の充実
		③	古文書等の歴史資料の収集・保存・活用
		④	歴史公文書の収集・保存・活用
		⑤	長岡市災害復興文庫の収集・整理・保存・活用
2	課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図る。	①	中高生向け図書館しごと応援事業
		②	庁内行政支援レファレンス
3	市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。	①	利用者アンケートの実施
		②	友の会事業
		③	ご意見ポストの設置
4	積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施する。	①	「写真と資料で振り返る長岡市制施行110年のあゆみ展」の開催
		②	各種機関と連携した事業の実施
		③	子ども読書活動推進計画関連事業の実施
		④	地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施
5	勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。	①	外部研修
		②	職場内研修
6	利便性の向上を図り、快適な環境づくりに努める。	①	子ども連れへのサービス
		②	学習室などの環境整備
		③	館外サービスの充実と利用の拡大を図る。

項目	平成29年度重点事項	平成29年度事業	事業説明	【平成29年2月24日 平成28年度第3回会議での協議会委員意見等】	
1	当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。	①	貴重資料の公開	所蔵している貴重資料を定期的にエントランスで展示する。	○まちなか図書館の名称について、「長岡現代図書館」ではどうか。 ○基本評価の数字から、何が起きているかを読み取ることが大事である。 ○庁内行政レファレンスの評価がBというのは、辛い評価である。市の他の部局が図書館を使ってまさに課題解決や政策提言立案等々にあたって積極的にかつ多面的に活用することは、図書館の課題であるとともに長岡市役所全体の課題でもあると思う。 ○学校教育機関の図書館で流行っているラーニング・コモンズを、公共図書館において、民間の人や住民の人、図書館も一緒になって活動できるのが理想である。 ○ラーニング・コモンズは、自由に話し合える空間、飲食できるスペースなどが必要であるが、課題解決に向けた資料及びサービスを追及していくと将来的に必要と思う。 ○保育園の先生が読み聞かせをしているが、先生方が図書館の職員から教えてもらっていることを知り驚いている。保育士も一所懸命勉強されていることを知り、こういう活動は大変良いと思う。 ○「館外サービスの充実と利用の拡大を図る」について、市内小学校42校ということで、大変ありがたい。 ○私の学校で造形大学と森林組合と本のコンテナの収納ボックスを試験的に貸出してもらっている。見た目がずいぶん変わり、子どもたちの評判も良い。こういった点も含めて環境整備を進めてほしい。
		②	郷土資料の充実	情報収集をして郷土資料を積極的に収集する。	
		③	古文書等の歴史資料の収集・保存・活用	古文書等の歴史資料の目録を作成し、公開して市民の利用に供する。	
		④	歴史公文書の収集・保存・活用	歴史公文書の目録を作成し、市役所での内部公開を検討する。	
		⑤	長岡市災害復興文庫の収集・整理・保存・活用	資料整理ボランティアと連携して目録を作成し、災害復興文庫展・記念シンポジウム【100周年イベント】等をおとして広く公開・活用する。	
2	課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。	①	中高生向け図書館しごと応援事業	若者しごと応援コーナーの資料の充実を図る。	
		②	庁内行政支援レファレンス	長岡市職員に図書館サービスを知ってもらい、行政の課題解決を援助する。	
		③	子ども連れへのサービス	・中央館では、毎週金曜日の午前中に、「おやこタイム」として一般の利用者の方へ子どもたちが大きな音をたてても温かく見守るよう依頼するとともに、おはなし会を実施する。 ・地域館では、子育て世代の利用者にも、図書館を気軽に利用してもらえよう取り組みを実施する。 【新規事業】 ・南地域図書館：絵本セラピー講座「大人に、絵本」 ・北地域図書館：としょかんDEおやこタイム ・中之島地域図書館：おはなしひろば012	
		④	図書館の環境整備	・中央図書館の玄関前階段・スロープに手摺を設置する。 ・西地域図書館の空調設備を改修する。	
3	市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。	①	利用者アンケートの実施	例年どおり実施し、昨年との比較や現状の利用者の意見を把握したい。HPでのアンケートも実施する。	
		②	友の会事業	図書館支援団体として図書館と連携し、活動を会の運営に活かす。	
		③	ご意見ポストの設置	日々の利用者の意見を聞き、今後の業務に活かす。	
4	積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施する。	①	「詩人堀口大樹と長岡」の開催【100周年イベント】	県立近代美術館と連携し、長岡ゆかりの詩人堀口大樹と当館が誇る堀口コレクションを広くPRする。	
		②	各種機関と連携した事業の実施	まちゼミ、まちぼんなど民間機関と連携した事業や新潟県立歴史博物館との企画展連携展示を実施する。	
		③	子ども読書活動推進計画関連事業の実施	・学校や家庭等での子どもの読書活動推進に役立つ講座等を実施する。 ・保育園等へ出向いての読み聞かせボランティア「どんぐり」の活動や保護者や保育士を対象とした絵本講座を実施する。	
		④	地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施	・近隣団体・学校・地元商店街との繋がりをさらに深め、連携した事業を積極的に実施する。	
5	勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。	①	外部研修	・県立図書館等が主催する研修に職員を参加させ、また研修で得たことを職員間で共有し、図書館職員のスキルアップをめざす。 ・地域館では県立図書館等の外部研修に参加するほか、県内のTRC各受託館で実施する研修会に、お互いのスタッフを参加させることで知識向上を図る。	
		②	職場内研修	・主に主任以上の職員が講師となり、接遇研修などの研修を行う。休館日削減のため、全員が集まる機会が取れないことが課題となっている。 ・地域館では、年3回の合同研修を行う。実施に関しては中央館と同様の課題がある。また、中央館の職員研修にも参加し、共通認識を持つ機会としたい。	
6	子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。	①	第二次長岡市子ども読書活動推進計画の策定	関係各課と連携し、子どもが読書と親しむための施策を検討し計画を策定する。	
		②	中高生向け図書館イベントの実施	中学生以上の若者が楽しめる図書館のイベントを実施し、図書館の利用をPRする。	
		③	米百俵号による特別巡回の実施	地域イベントに出向いて米百俵号による貸出を実施し、図書館及び米百俵号のPRをする。	
		④	としょかんクリスマススペシャルコンサートの実施【100周年イベント】	弦楽四重奏による演奏や楽器体験のほか、ピアノと絵本の読み聞かせを絡めた演奏など、子どもと本をつなぐコンサートを実施する。	